

たまねぎの収穫・調理・定植体験会の実施 事業実施主体:あおり水土里ネット女性の会(青森県)

- 青森県では、第3次青森県食育推進計画(平成28年度～令和2年度)において、「青森ならではの食の力を生かした「食」と健康を育む環境づくり」を基本方向の一つに掲げ、農林水産業が盛んな本県の特徴を最大限に生かし、農林水産業に関する理解を深める取組を推進している。
- あおり水土里ネット女性の会(水土里ネットは土地改良区等関係機関の愛称、女性職員等76名で構成)では、子どもを含めた幅広い世代を対象に、農作業を通じて農業の大切さを伝え、収穫や調理体験をすることで地域の食材に対する愛着を深めてもらうことを目的に、たまねぎの収穫・調理体験会と定植体験会を実施した。



【取組の内容】

高収益作物として3年前からたまねぎ栽培に取り組んでいる青森市奥内地区のほ場において、たまねぎの収穫・調理体験会及び定植(秋植え)体験会を実施した。

<参加者> 収穫・調理体験会:会員22名、一般参加者8名 計30名
定植体験会:会員9名、一般参加者5名 計14名



たまねぎの収穫体験



収穫したたまねぎでカレー作り



たまねぎの定植体験(1)



たまねぎの定植体験(2)

【取組の成果】

- 自ら収穫した作物を調理し、食することで、農業と食の大切さを実感する機会となった。
- 青森県の推進する高収益作物の収穫等に係わり、農作物のブランド化に向けた取組を学ぶことにより、地域の農業に対する理解が促進された。

<参加者の意見・感想>

- ・生産や加工を通して皆で楽しく美味しく食べることが一番だと思う。
- ・たまねぎの加工食品を考える会をつくり、自分達で商品にしたい。



収穫・調理体験の参加者



カレーの試食



定植体験の参加者